

取扱説明書

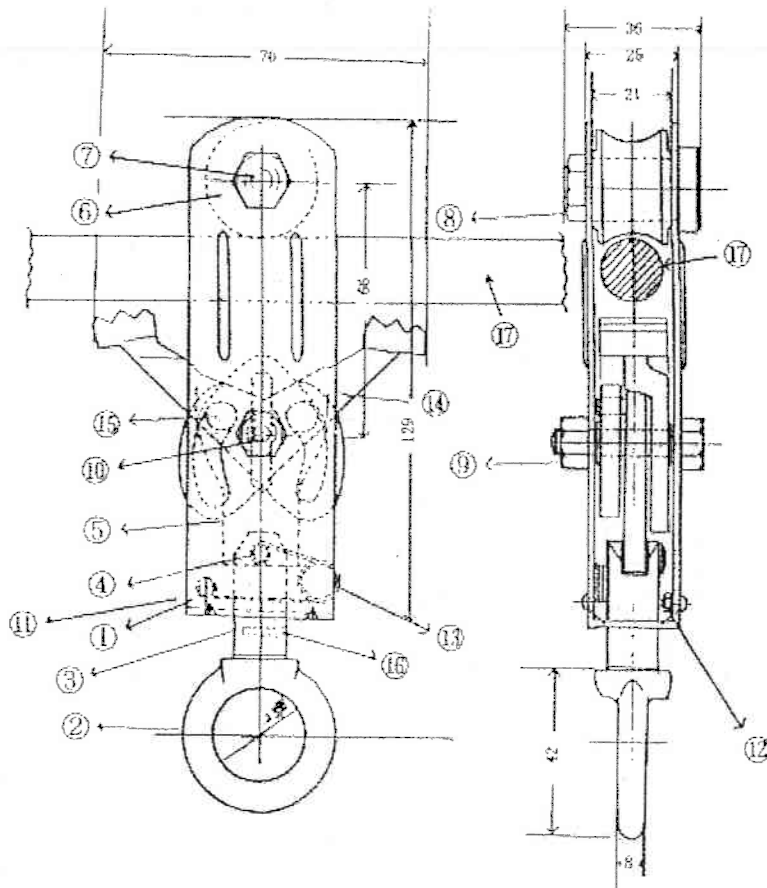
横移動安全滑車 AK-1D

本品は、高所作業に用いる水平親綱に作業者がフックを掛ける際、安全滑車をセットして使用すると墜落時にロープを安全滑車が狭押し横滑りを防止する滑車です。

1. 用途

水平(横)親綱に安全滑車をセットして使用すると墜落時にロープを安全滑車が狭押し横滑りを防止する滑車です。

2. 構造及び各部の名前

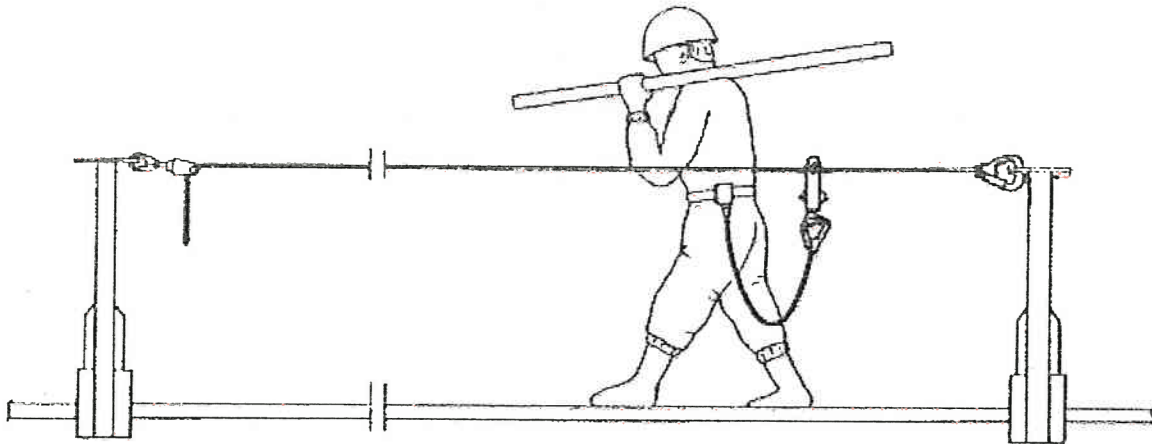


NO	部品名称
1	フレーム
2	アイボルト
3	パイプネジ
4	カシメピン
5	スライド板
6	滑車
7	滑車軸
8	10ミリナット
9	8ミリワナット
10	M8六角ボルト
11	(+)ナベ 4×8
12	M4ナット
13	スプリング
14	ストッパー
15	スライド板ピン
16	3×8SPピン
17	親綱

3. 使用方法

1. 親綱を張る前に安全滑車の(6)滑車と(14)ストッパーの間に(17)親綱を入れます。

- 2.安全滑車をセットしたまま親綱を張ります。
- 3.安全帯のフックを(2)アイボルトに掛けて横移動します。



4. 使用上の注意事

危険

- 水平(横)親綱専用ですので、縦親綱(縦作業・斜め作業)には使用しないで下さい。
- 16ミリ三打ロープ又は13ミリクロスロープ(親綱支柱の構造等に関する技術基準に準じた親綱)を使用してください。又、破損した親綱や1度衝撃を受けた親綱では絶対に使用しないで下さい。
- 緊張器の設置間隔は10m以内で親綱を張って下さい。
- 緊張器の設置した位置と、床面の垂直距離が短い場合、 $L=4(H-3)m$ の設置間隔で親綱緊張器を設置して下さい。(Lは緊張器を設置した位置から床面までの高さ。ただしLは3.8m以上確保すること。)それ以上の間隔で親綱を張った場合、作業者が地上に接地する可能性があります。
- 緊張器、及び親綱のフック、カラビナの固定場所は十分強度のあるところに設置して下さい。
- 1本の親綱に作業者は1人でご使用ください。2人以上で使用した場合、1人が墜落した時に他の作業者も引っ張られる危険性があります。

○重量物の荷揚げ等<1. 用途>以外の使用は絶対にしないでください。

注意

○フック、カラビナ等を付属させる場合は、必ず2重ロック付のものを使用してください。

○本体を改造しないでください。本来の性能が損なわれる可能性があります。

5. 点検と検収基準

始業点検 : 使用する人が作業前に毎回行ってください。

定期点検 : 使用する人もしくは管理者により1ヶ月ごとに行ってください。

異常時点検: 作業中異常を感じたら直ちに作業を中止し、再点検を行ってください。

◇検収基準◇

整備項目

○本体に附着した附着物はワイヤーブラシ、布きれ等で除去する。

○可動部(14)ストッパー、(5)スライド板、(13)スプリング等には時々注油してください。

廃棄項目

○本体の潰れ、変形、亀裂の著しいもの。

○本体の錆が著しく作動しないもの。

6. 交換のめやす

使用方法によって異なりますが、交換のめやすとしては始業点検、定期点検をおこなない廃棄項目にあたるものはすべて新品と取り替えてください。

この取扱説明書の内容につきましてご不明の点がありましたら、下記にご相談ください。

発売元

商標登録 NO.1228153



マイ・ウイング
MY.WING

中央労働災害防止協会・建設業労働災害防止協会・仮設工業会・賛助会員



セイコー機器株式会社

〒173-0011 東京都板橋区双葉町33-15 TEL03-3964-4150(代) FAX03-3963-8193

<http://www.seikokiki.co.jp>

E-mail: support@seikokiki.co.jp